

社団法人 日本循環器学会  
2008 年度評議員会 議事録

日 時 2009 年（平成 21 年）3 月 20 日（金） 18 時 30 分～19 時 40 分  
場 所 リーガロイヤルホテル(大阪) 3 階 光琳 2  
〒530-0005 大阪市北区中之島 5 丁目 3-68  
TEL：06-6448-1121（代表）

評議員現在数：250 名  
出席評議員数：229 名（内 委任状出席 42 名）  
その他出席者：名誉会員 7 名、特別会員 14 名

議 事

- 第 1 号議案 2008 年度事業報告  
2006・2007 年度会費未納による退会会員報告
- 第 2 号議案 2007 年度決算報告（追認）
- 第 3 号議案 2008 年度収支予算の修正
- 第 4 号議案 2009 年度事業計画及び収支予算承認
- 第 5 号議案 公益法人改革について（定款及び定款施行細則変更等）
- 第 6 号議案 会員の処分について
- 第 7 号議案 循環器専門医制度について
- 第 8 号議案 委員会報告
- 第 9 号議案 2009 年度就任新評議員・新正会員代表の報告
- 第 10 号議案 新名誉会員・新特別会員の承認
- 第 11 号議案 第 74・75 回学術集會会長挨拶  
第 76 回学術集會会長の承認
- 第 12 号議案 その他

議事の経過及び結果

定刻になり、第 73 回堀正二会長から評議員現在数及び出席評議員数を報告、定数を満たしたので会議の成立が確認され、定款第 26 条の定めにより堀会長が議長となり開会。資料にある 38 名の物故会員および直近に逝去された竹下彰名誉会員、プール・ウィルソン国際名誉会員に対し、黙祷が捧げられた。続いて議長から議事録署名人に小川聡理事と松崎益徳理事を指名し了承され、議事に入った。

第 1 号議案 2008 年度事業報告  
2006・2007 年度会費未納による退会会員報告  
議長から、2008 年度における事業の概要について、資料のとおり報告された。続いて、2006・2007 年度会費が未納である会員 281 名について経過が説明され、これらの会員の退会について承認された。

第 2 号議案 2007 年度決算報告（追認）  
議長から、一般会計、専門医特別会計、学術集會特別会計、支部特別会計及び地方会特別会計の 2007 年度会計について、昨年 6 月理事会にて承認され、会告にて会員へ通知している旨資料に沿って報告があり、追認された。

第 3 号議案 2008 年度収支予算の修正  
議長から、当初予算に未計上であった事業や内容を見直して 2008 年度収支予算の補正を行い、今年 1 月理事会で承認された旨、資料に沿って説明があり、承認された。

第 4 号議案 2009 年度事業計画及び収支予算承認  
議長から、今年 1 月理事会で承認された 2009 年度事業計画及び収支予算について資料に沿って説明があり、承認された。

#### 第 5 号議案 公益法人改革について（定款及び定款施行細則変更等）

小川理事長から、下記の通り公益法人改革に関する対応状況の説明があった。

新しい公益法人制度に関する法律の施行に伴い、2008 年 12 月から JCS も特例民法法人になっており、今後 5 年以内に何らかの移行手続きを行う必要がある。

JCS としては、公益社団法人を目指す方向で理事会合意が得られている。

現在の評議員の任期終了に合わせて、移行申請を行う予定である。

定款・定款施行細則の修正案を作成しており、完成次第会員に公開しご意見を伺う予定である。

以上について、承認された。

#### 第 6 号議案 会員の処分について

小川 聡理事長から、下記の 3 件につき該当者を処分した旨報告があった。

循環器専門医試験における不正に関する処分

該当者：1 名

処分内容：日本循環器学会認定循環器専門医資格の取り消し、且つ日本循環器学会認定循環器専門医の受験を 3 年間（2009～2011 年度）認めない。

Circulation Journal 掲載論文における不正に関する処分

1)筆頭著者

処分内容：・除名（会員番号 132395）とし、3 年間（2009～2011 年度）当会への再入会を認めない。  
・ Circulation Journal への投稿を 3 年間禁止する。

2)第二著者

処分内容：・ 厳重注意とする。  
・ Circulation Journal への投稿を 1 年間禁止する。  
・ 第 19 回（2008 年度）循環器専門医試験を不合格とする。 但し、第 20 回（2009 年度）循環器専門医試験からは申請可能とする。

3)その他の全共著者

処分内容：・ 厳重注意とする。  
・ Circulation Journal への投稿を 1 年間禁止する。

行政処分を受けた会員に対する処分

該当者：1 名（会員番号 125366）

処分内容：・ 定款第 12 条第 1 項の規定に基づく除名  
・ 行政処分の期間中(2011 年 3 月 8 日)まで再入会を認めない。

以上について、承認された。

#### 第 7 号議案 循環器専門医制度について

議長から下記の通り報告があった。

2009 年 4 月 1 日認定となる循環器専門医は資料のとおり 602 名である。

2009 年 4 月 1 日に指定及び指定更新となる研修・研修関連施設は資料のとおりである。

日本集中治療医学会を 2009 年 4 月 1 日から関連学会として認定する。

日本専門医制・評価認定機構から指摘された本会専門医制度の問題点 3 点について次の方向で進めている。なお、必修研修の適用年度は、2012 年 4 月 1 日の循環器専門医資格更新者からとする。

1)循環器専門医の医師像について

「循環器専門医は、心臓・血管系に関する豊富な知識と技能を有し、心筋梗塞、狭心症、高血圧、動脈硬化、弁膜症、心不全、不整脈、などの循環器疾患の適切な診断・治療及び予防ができる能力を有する」とする。

2)循環器専門医認定時の指導医による達成度評価制度の整備について

達成項目から順次責任者に確認をして頂けるよう、「研修手帳」を作成する。

3)認定更新に必要な研修単位（50 単位）のうち、必修研修内容の配分について

- ・ 30 単位を最新医療の知識習得に関する研修とし、教育セッションも含めて、当会主催の学術集会・地方会への参加で取得することとする。
- ・ 2 単位を医療倫理、安全・法律に関する研修とし、学術集会時の医療安全・医療倫理講演会への参加、インターネットによる視聴研修プログラムによる研修等で取得することとする。

## 第 8 号議案 委員会報告

### 1) 編集委員会

下川宏明委員長より下記の通り報告があった。

編集委員会では、Circulation Journal (CJ) の受付から出版までの時間短縮、journal の質の向上、Impact Factor (2007 年: 2.373) の向上を目標としている。

投稿論文数は、2007 年の 1088 編から 2008 年は 1211 編に増加、海外からの投稿も 530 編と増加した。

2008 年 7 月より新編集委員会を組織し、以下の新たな取り組みをスタートした。

- 1) 2008 年 8 月より従来のオンラインジャーナルに加えて、早期公開のサービスを開始した。
- 2) 2008 年 10 月より、IF の更なる向上を理由に Case Report の受付を中止した。
- 3) Vol.73 から表紙他デザインを刷新するとともに、毎号、国内外の優れた研究者からの Review Articles、査読者に執筆依頼の Editorials を掲載している。
- 4) 日頃ご尽力頂いている査読者への謝意を表するため「Best Reviewers of the Year」を新設した。
- 5) オンラインジャーナルが広く浸透してきたこと、また紙媒体不要の声を受け、4 月 25 日発刊 Vol.73 No.5 から CJ を希望者にのみ送本することとした。

### 2) 国際交流委員会

鄭忠和委員長より下記の通り報告があった。

AHA や ESC 等の海外学会と委員会報告資料のとおり各活動を行っている。

APSC 事務局を JCS 内に設置して、運営を行っている。また、APCC2009 を 2009 年 5 月に国立京都国際会館にて開催する。

世界心臓学会(WCC)を京都に招致する活動を行っている。

### 3) 循環器救急医療委員会

小川久雄委員長より以下の通り報告があった。

循環器救急医療委員会は AED 検討委員会、JCS-ITC 運営小委員会、循環器救急医療制度小委員会、蘇生科学小委員会の 4 つの小委員会の活動について検討と承認を行っている。

AED 検討委員会では、AED の誤診断の例があることから、消防などの協力を得て、各社製品の診断精度の調査を行っている。また、簡易心肺蘇生法を市民に普及できるように広報を行っている。

JCS-ITC 運営小委員会では、9 支部の協力を得ながら AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコース、AHA ACLS プロバイダーコースを積極的に展開している。

循環器救急医療制度小委員会では、循環器研修施設を対象に循環器救急医療についての実態調査を行い、その結果を今回の学術集会の日循ブースでポスター掲示している。

3 月 17 日(火)、18 日(水)に行われた ILCOR(International Liaison Committee On Resuscitation) 会議と 3 月 19 日(木)に開催された I-ReSS (International Resuscitation Science Symposium) に協力し、日本からのエビデンス発信に努めた。

### 4) コメディカル委員会

水野杏一委員長から以下の通り報告があった。

主にコメディカル関係者を対象とした、準会員制度の創設について検討した。導入は新しい公益法人制度への移行時期にあわせる予定である。

本委員会はコメディカル関係の学会への JCS 側の窓口ともなっており、日本臨床工学技師会や血管造影・インターベンション専門技師認定機構などの依頼を受け、委員派遣等を行った。

以上の委員会報告および資料に掲載されている他の委員会報告について、一括して承認された。

## 第 9 号議案 2009 年度就任新評議員・新正会員代表の報告

議長から、65 歳定年制により 2008 年度で退任する評議員および正会員代表の補充として選出された 2009 年度就任評議員および正会員代表が資料の通り報告され、承認された。

## 第 10 号議案 新名誉会員・新特別会員の承認

議長から、藤原久義先生及び横山光宏先生を 2009 年度の名誉会員として理事会が推薦している旨報

告があり、承認された。

第 11 号議案 第 74・75 回学術集会会長挨拶及び第 76 回学術集会会長の承認

第 74 回学術集会北徹会長の代理として木村剛先生から以下のとおり報告があった。

会期は 2010 年 3 月 5 日（金）～ 7 日（日）、国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都で開催する。メインテーマは、「知の集約による真理の探求 基礎と臨床の融合」を予定している。

美甘レクチャーは、Shaun Coughlin 先生、真下記念講演は山中伸弥先生、特別講演は 14 名の海外招待者に先生方の内諾を得ている。

他、資料として第 74 回学術集会案内チラシ（A4 版）が配布された。

第 75 回学術集会小川聡会長から 2010 年度開催（2011 年 3 月 18 日～20 日 横浜）の挨拶と鄭忠和先生（鹿児島大学循環器呼吸器代謝内科学）が第 76 回学術集会会長に承認された。

以上をもって本日の議事を終了し、議長が長時間の協力に謝辞を述べて閉会した。

上記の議事の経過及び結果を明らかにするため、この議事録を作成し議長ならびに議事録署名人、これに署名押印する。

2009 年 3 月 20 日

社団法人 日本循環器学会 2008 年度評議員会

（署名）

（捺印）

議 長 堀 正 二

議事録署名人 小 川 聡

同 松 崎 益 徳

（以下余白）